

自分自身が教育者になることはありませんが、社会の関心事の一つです。そんな時、工藤勇一先生のことを知りました。ご存じの方もいるかと思いますが、千代田区立麹町中学校の校長時代、子どもの自律を重視した教育改革に取り組みをされた方で、宿題廃止、定期テスト廃止、固定担任制廃止など大胆な学校改革をされた方です。はじめて工藤先生の改革を知った時、本当に痛快だったのを覚えています。公立の学校でもできるのかと。

その工藤先生と、伝説のプレゼンとして有名な植松社長との対談本「社会を変える学校、学校を変える社会」

「社会」を読んでもみました。おもしろくてあつという間に読



み切ってしまった。細かい内容はともかく、こういう考えで教育を考えている大人がいて、実践しているのだから日本の未来は明るいと思いました。

ただ、工藤先生お一人では社会を変えられないので、どんどんその後継者が出てきてほしいと思っていました。そんな時、ある公立小学校の校長先生が、工藤先生と同じような考えで学校改革をしていて注目されているという話を聞きました。本当に楽しみだし応援したいと思いました。何せ、その小学校は新宿区だと言うのですから。

### 企業と社会貢献

私は企業に勤務したことがないの

で、全くそういうことには疎かったのですが、最近はゼブラ企業と言われ、社会貢献と事業成長の両立をかなえた企業があるそうです。企業は利益追求のためにあるとずっと思っていたので社会貢献という軸足を持っていることに驚きました。

先日、ある企業の社会貢献事業をやられている方のお話を聞く機会がありました。その企業の利益とは全く別物として活動していて、「そのサポートをしているのは私たちの会社です」というスタンスでした。

私たちも地域活動を色々やっていますが、企業とは相容れない関係だと思っていました。しかし、しっかりとした志や目的があればコラボすることもできそうです。企業も、社会も大きく変わっているんだなあと痛感した出会いでした。